

神奈川県協同組合連絡協議会

かながわC☺-ネット会員組織 御中

2020年3月16日

全国に広がる新型コロナウイルス感染症は、県内の協同組合の事業・活動にも大きな影響を及ぼしています。各会員組織では、組合員が集うイベント等の中止・延期等の対応がなされていますが、感染リスクの高まりは経済の停滞とともに人間関係の不信感も増幅させていくかのようです。

収束の先行きは見えない状況ですが、経済活動の復旧には、地域での協同組合間の協同をはじめ他者との協力が不可欠です。協同組織だからこそできる地道な活動を続けていきましょう。

協同の発見 第327号

お知らせ

いま、「協同」が創る2019全国集会 in kanagawa 報告集が発刊されました

令和元年11月29日、30日に『2019 かながわ協同組合のつどい』と連携開催した標記全国集会につきまして、労働者協同組合の研究機関である一般社団法人協同総合研究所が標記報告集を発刊しました。

2日間に渡り開催された全体会・20分科会の内容を振り返る内容となっており、今後の私たちの活動へのヒントが詰まった冊子となっています。

ご購入をご希望される場合には、電話、FAX、HPのお問合せフォームを通じてお申込みください。お申込み時に「かながわC☺-ネット通信を見た」と申し出ただけであれば特別価格1,000円(税・送料込み)で購入できます。



一般社団法人 協同総合研究所

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-44-3 池袋ISPタマビル7F

TEL : 03-6907-8033 FAX : 03-6907-8034

お問合せフォーム URL : <https://jicr.roukyou.gr.jp/contact/>



かながわC☺-ネットアドバイザー 古沢 広祐教授の新刊をご紹介します

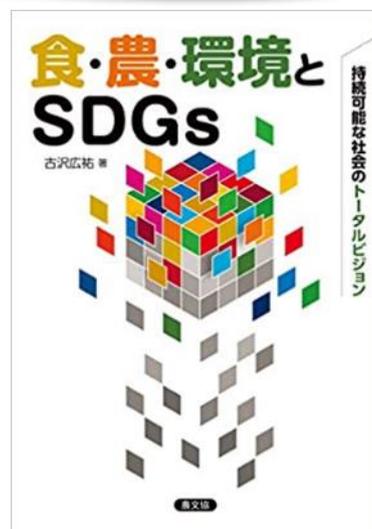
本協議会アドバイザーである國學院大學経済学部 古沢広祐教授の新刊「食・農・環境とSDGs 持続可能な社会のトータルビジョン」をご紹介します。

<<内容紹介>>

現代は、国際分業と競争が、地域性と自然の循環を切断して大地との離反を促進していくのに対し、地球環境問題の深刻化をくい止めるエコロジー運動の展開、地域コミュニティ・地域循環(調和)型社会の形成の動きが、二極対抗的に展開している。

著者は研究者として立場をこえて、地球市民的なNGO活動に長年関わってきた。その実践知的な立場を含め、グローバル化とローカル化の相克と相互革新という視点から、SDGsを実現する社会展望の新しいパラダイムを大胆に示す。

ご購入は、全国の書店または別紙の注文書によりお申込みください。



参加募集

体験型農園名水湧く湧く農園（秦野市）

入園者募集中！

秦野市内の体験型農園「名水湧く湧く農園」では、2020年4月からの入園者を募集中です。応募にあたっては、2020年3月31日（火）までに電話にてお申込みください。なお、問合せ多数のため、残りの区画が大変少なくなっているそうですので、お申込みにあたってご留意ください。



2020年度利用者募集

体験型農園って？

- 種・苗・肥料は園主が全て用意します
- 道具は全て揃っているため、手ぶらで畑へ
- 都合の良い時にいつでも畑へ
- 年間計画の農作物の播種・植え付け・栽培管理方法・収穫まで指導します
- 名水湧水地内の畑で、コンパニオンプランツ利用の減農薬野菜を20種類以上収穫できます

イベントも盛りだくさん

- 春・秋植え付け
- 収穫までの講習会
- 入園者交流会
- 夏祭りバーベキュー大会
- 収穫祭
- 餅つき新年会
- お茶・ブルーベリー苺摘み ... etc



ミニトマト・キュウリ・ナス・ピーマンひっくり返るほど収穫できました。普段食べている野菜はほとんど農園で作ったものです。自分で作っているから安心して美味しいです。畑はいつ来ても大丈夫。名水湧水で野菜を洗って持ち帰れます。

体験型農園
名水
湧く湧く
農園
募集開始



初心者でも立派な野菜を作れます

- 農園所在地：秦野市平沢1080番地内
- 利用期間：4月～翌年2月末
- 利用区画：1区画20㎡
このほか共同区画での栽培にも参加できます
家族、友人、団体、法人、被検入での利用も可
- 栽培講習会：月に2回程度(金・土・日)
- 年会費：44,000円(税込)/区画
駐車場(有料)有り



園内に湧き出る名水でおいしい野菜と一緒に作ってみませんか

●応募方法：

電話またはFAXにて、お名前・ご住所・電話番号をお知らせ下さい。

●募集〆切：

令和2年3月末日
先着受付となります。



●見学・仮予約随時受付

●お問合せ窓口

JAはだの/はだの都市農業支援センター
TEL 0463(81)7800

名水湧く湧く農園（和田）

TEL/FAX 0463(83)0174

URL <http://www.wakuwakunouen.fun>

親子一緒に農業体験!! JA横浜「あぐり塾」 参加者募集中!

JA横浜では、横浜市内に在籍の5歳から中学生のお子さまとその家族（大人のみ可）を対象に、栽培、収穫体験を通じて「農業・食・いのちの大切さ」を学ぶ人気企画「あぐり塾」を開校します。種や苗から作物を育てて、「食」や「農」について考えませんか？

応募につきましては、別紙チラシをご参照のうえ、JA横浜のホームページ（<https://ja-yokohama.or.jp/>）または電話（JA横浜 地域ふれあい課：045-942-2316）にて、2020年4月17日（金）までにお申込みください。

積極的なご参加をお待ちしています。



”あぐり塾”開催スケジュール

回	開催日時	テーマ	内容
第1回	5月17日(日) 9:00～12:00 ※予備日5月24日(日)	開校式 野菜の種まきと苗植えをしよう ～農業のスタートです～	・開校式(塾長挨拶) ・落花生の種まき ・サツマイモ苗の植付け ・ジャガイモ畝周りの雑草抜き ・小松菜の収穫
第2回	6月27日(土) 9:00～12:00 ※予備日6月28日(日)	圃場管理と野菜を収穫しよう!	・サツマイモ畝周りの雑草抜き ・サツマイモのつる返し ・小松菜、コカブ、ジャガイモの収穫 ・バターづくり
第3回	9月27日(日) 9:00～12:00 ※予備日10月4日(日)	野菜を収穫しよう! ～農業の魅力を感じたかな?～ 閉校式	・サツマイモのつる切り ・サツマイモ、落花生、ルッコラの収穫 ・閉校式(塾長挨拶)

- ★受付時間は各回とも開始30分前からとなります。
- ★第2回のみ開催が土曜日となりますので、ご注意ください。
- ★畑の先生は、地元農家及びJA職員が担当します。
- ★屋外での作業が前提となりますので、天候等により内容を一部変更する場合があります。

～生活クラブ神奈川・神奈川大学寄付講座が開講されます～

生活クラブ神奈川では、今年で9年目となる神奈川大学での寄付講座を開催します。

日本や地域の課題解決を目指し、“サステイナブル（持続可能）な暮らし”を実現するために、非営利・協同セクターはどのような役割を担い、どう展開していくのか…テーマごとにゲストスピーカーをお呼びし実践報告も交えて学んでいきます。

応募につきましては、生活クラブ神奈川HPの申込フォーム（<https://kanagawa.seikatsuclub.coop/news/detail.html?nid=0000035179>）または電話（生活クラブ神奈川 政策調整部：045-474-0985）でお申込みください。講座開講後も途中から申し込み可能です。

講座内容一覧は次ページをご覧ください。

受講生募集!!

生活クラブ神奈川

<第1回> 4月8日(休)
協同組合(生活クラブ生協)について
 講師: ① 藤田ほのみ/生活クラブ生協理事長、
 ② 出口裕明担当教授 (〇数字は以下の内容の担当)
 ①主催者あいさつ②本講座の主旨、狙い、講座概要、成績評価方法等を説明します。③協同組合並びに非営利市民事業とはどのような組織か、出資金や剰余金のあり方、経営の考え方等の原則を、生活クラブ生協の日常の組合員活動を通じて説明します。また、組合員主権とはなにか、協同組合・NPOの参加・運営形態の違い等、本講座を受講するにあたっての基礎学習を行います。

<第2回> 4月15日(休)
世界に広がる協同組合運動-その今日的意義と課題
 講師: 白石正彦/東京農業大学名誉教授
 協同組合とはいかなるものか。そして、協同組合運動の歴史の変遷と到達点を概説します。そのうえで、今日の世界的に高まっている協同組合に対する期待(SDGs等)にも触れながら、今日の協同組合(非営利・協同セクター)の課題と展望について検証します。

<第3回> 4月22日(休)
地域社会に展開する協同組合の可能性
 講師: 三浦一浩/一般財団法人地域生活研究所研究員
 日本で多面的な生活課題、地域課題の解決と雇用を生み出している協同組合について、「生協は何故つくられたのか」をテーマに、その歴史的背景、設立過程を含めて事例を基に紹介します。また、なぜ現在の法制度が日本の協同組合組織の広がりを妨げているのか、協同組合法の問題点を概説します。

<第4回> 4月29日(休)
ソーシャルキャピタル(社会関係資本)と非営利・協同セクターの役割
 講師: 宮崎徹/早稲田大学・日本女子大学非常勤講師
 経済的資源(モノ・カネ・ヒト)の配分のしくみである市場と政府の関わりについて、19世紀から今日までの変遷をマクロ的視点で振り返ります。そのうえで、現在露呈している社会問題を踏まえ、振り回す経済や公共政策など、2つの分野(公・市場セクター)のやりくりでは、社会を運営していくことに限界がきていることを説明し、ソーシャルキャピタルや非営利・協同セクターの役割について学びます。

<第5回> 5月13日(休)
平和・民主主義と日本国憲法
 講師: 芹澤齊/青山学院大学名誉教授
 今日、「戦後レジームの脱却」を標榜する政権によって、基本的人権の保障、国民主権、平和主義が、ないがしろにされようとしています。安保関連法施行、憲法改正議論の加速化も予測される中、協同組合運動の基盤でもある平和と民主主義について憲法を軸に考えます。また、憲法9条の平和主義について学びます。

<第6回> 5月20日(休)
①「レイドロー報告」の到達点と今日における課題
②中間振り返り
 講師: 半澤彰浩/生活クラブ生協専務理事
 ①レイドロー博士報告「西暦2000年における協同組合(1980年)が出された時代背景と、協同組合の理念・原則を紹介します。また、同報告書が提起した協同組合の「思想の危機」と危機克服のための4つの優先分野について概説します。その上で、今日の社会をどうみるか、食・経済格差・人口減少・エネルギー等の問題を通して、協同組合の課題と展望に触れます。②また、前半の概論の振り返りを行い、非営利市民事業、協同組合の理論や概念をさらに深めます。

<第7回> 5月27日(休)
食を取巻く課題と協同組合の役割
 講師: 加藤好一/生活クラブ連合会会長
 生活クラブ生協の事業と運動の取組を、「生活クラブの消費材10原則」等を踏まえ、食料自給や食の安全(添加物、農薬、遺伝子組換え、放射能等)などの取り組み事例を通して、持続可能な開発目標(SDGs)の推進視点を含む共同購入運動や協同組合運動について紹介します。さらに、消費者、生産者の立場から、食の安全、農業保護、グローバル経済システムについて考えます。

<第8回> 6月3日(休)
少子・高齢・人口減少社会における日本の社会保障
 講師: 小川泰子/本学非常勤講師、(社福)いきいき福祉理事長
 今日の日本の人口減少社会の特徴と一連の社会保障(介護、医療、年金)改革の課題を概説し、子育てや生活困窮者に対する支援の強化が求められている状況と、公的福祉の限界性を共有します。そして、これからの時代の個人が尊厳をもった生き方・死に方、「福祉」とは何かを問題提起します。

<第9回> 6月10日(休)
市民による参加型福祉と社会的包摂の取組み
 講師: ①若島周子/生活クラブ生協副理事長、②片山丸/生活クラブ生協たすけあいネットワーク事業部長
 ①少子高齢・人口減少社会が急速に進み、私たちは様々な生活リスクにさらされています。今日の社会情勢を踏まえつつ、生活クラブ生協の共済活動の取り組みを学びます。
 ②生活クラブ生協の活動の延長として参画している一般社団法人フードバンクかながわの取組みなどを紹介します。

<第10回> 6月17日(休)
協同組合原則を基盤とした新しい働き方の可能性
 講師: 木村満里子/神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会理事長
 ①人と人とのつながりが基本である協同組合は、東日本大震災とその後の復興への取組みにあたり、大きな役割を果たしてきました。活動の経験から培われた支援の考え方や現在も震災復興に取り組む協同組合の実践や課題を学びます。
 ②また、壊滅的被害を受けた宮城県北上町十三浜の漁業を復興させた経験と共有します。

<第11回> 6月24日(休)
若者の就労支援や、地域で雇用創出にチャレンジするワーカーズ・コレクティブ運動
 講師: 松川由実/NPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会専務理事
 困難を抱えた若者たちとの共働・共生をめざす、W.Co協会の誕生経緯、これまでに若者や生活困窮者等を対象とした就労支援事業、居場所や働き場づくり等の取り組みを、「はたらく・ざさ」が日本協同組合学会実践賞を受賞したことも含めて紹介します。また W.Coによる支援の課題や今後の展望について考えます。

<第12回> 7月1日(休)
東日本大震災からの復興を進める新しい協働 NPOと生活協同組合
 講師: ①石井優太/公益財団法人共生地域創造財団事務局長
 ②佐藤清吾/元十三浜漁協組合長
 ①人と人とのつながりが基本である協同組合は、東日本大震災とその後の復興への取組みにあたり、大きな役割を果たしてきました。活動の経験から培われた支援の考え方や現在も震災復興に取り組む「非営利・協同」による実践や課題を学びます。
 ②また、壊滅的被害を受けた宮城県北上町十三浜の漁業を復興させた経験、市場主義経済による復興を強行する現状(ショックドクトリン)などによる被災地現場の苦悩や課題について共有します。

<第13回> 7月8日(休)
自然エネルギーと協同組合
 講師: 生活クラブ生協副理事長
 生活クラブ生協のエネルギー自給圏づくりに向けた取り組み(脱原発社会、CO2削減、エネルギー自治、再生可能エネルギーの発電施設建設等)を紹介するとともに、地球温暖化問題を踏まえ、日本の自然エネルギー普及の現状及び環境政策の課題を考えます。

<第14回> 7月15日(休)
①生活クラブ生協で働くということ
②全体まとめ
 講師: ①生活クラブ生協/職員
 ②生活クラブ生協理事長
 ①生活クラブ生協職員からの報告および提起を通して、協同組合を形づくっている多様な働き方や意義について考えます。
 ②講座全体を振り返り、歴史的な大転換期を迎えた世界における非営利・協同セクターの今日的意義に関する理解、見識を深めます。

★★C o - ネット会員間での連携事例のご報告★★

☆J Aセレサ川崎のファーマーズマーケット「セレサモス」では、リサイクル石けん「きなりっこ」を取り扱っています☆

J Aセレサ川崎「セレサモス(麻生店、宮前店)」では、市内のワーカーズ・コレクティブ「NPO 法人 川崎市民石けんプラント」(<http://kinarikko.kazekusa.jp/>)が製造する食用油リサイクル石けん「きなりっこ」を取り扱っています。2018年には、麻生店で同法人が「夏休み親子環境学習会」を開催する等、非営利協同組織間での連携が進められています。



➤告知を希望される行事、提携事例等がありましたら下記までご連絡下さい。

<担当事務局連絡先>

J A神奈川県中央会 J A改革対策部(担当: 岩堀・丸岡) TEL 045-680-3002 jakaikaku@chu.kn-ja.or.jp
 神奈川県生活協同組合連合会(担当: 相田) TEL 045-473-1031 Yuji.Aida@uccoop.or.jp